

American D.J.®

LED MESSENGER

取扱説明書

Ver. 1.01



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度はAmerican DJ LED MESSENGERをご購入頂き誠にありがとうございます。LED MESSENGERはDMX 規格に対応したLED ムーンフラワーエフェクトです。オートモード、そしてサウンドアクティブモードでの使用が可能な他、DMX コントローラーを使って操作する事も出来ます。

本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。また本書が保証書となりますので大切に保管して下さい。

基本仕様

- DMX-512 対応 (3DMX チャンネル)
- 入力可能文字数:30 文字
- フレーズ数:15
- 10 フレーズ内蔵 (英数字の上書き可能)
- 5 フレーズ空きスロット (英数字の上書き可能)
- 16 パターン内蔵プログラム
- フラッシュ(ストロボ)スピードコントロール
- フレーズスクロール、プログラムスピードコントロール
- サウンドアクティブ (マイク内蔵)
- スタンドアローン、マスター/スレーブモード
- 4種類の動作モード (プログラム/フレーズ選択、オートモード、サウンドアクティブ、DMXコントロール)

安全上の注意

- 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認して下さい。本体に異常がある場合は本製品の使用をお止め頂き、販売店にご相談下さい。
- 本体は必ず安全で、安定した場所に設置して下さい。電源ケーブルは踏まれたり挟まれることのない場所に設置して下さい。
- 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れて下さい。本体を他の機材と接続する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外して行ってください。
- 電源、電圧が正しい事を確認して下さい。AC100V 50/60Hz 環境にてご使用下さい。
- 感電防止の為、使用中は部品に触れないで下さい。本体カバーを外した状態で本製品を使用しないで下さい。また、アース端子は必ず接続して下さい。
- 本製品は屋内専用です。本製品を屋外で使用した場合保証対象外となりますので予めご了承下さい。
- 通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また、周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意下さい。使用中は本体が熱を持つ場合がありますので、近くには何も置かないで下さい。
- 本体に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようご注意下さい。感電や火災の原因になります。
- ディマーパックからの電源供給は行わないで下さい。
- 長時間使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから外して下さい。
- 拡大鏡レンズを使用していますので、絶対に直射日光に当たらない所に設置して下さい。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡下さい。

メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

DMX-512 について

DMX-512

DMX-512 とは、照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行うための、世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の IN、OUT 端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

DMXリンク

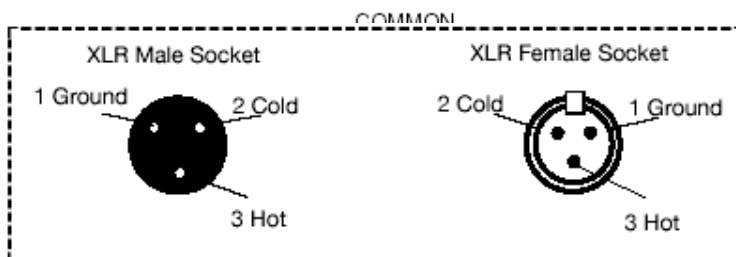
DMXデータの正確な送受信を行うため、ユニット間をつなぐケーブルはできる限り短いものをお使い下さい。また、ユニットが接続された順番とDMXのアドレス指定は関係しません。ユニットごとに任意のアドレスを設定することが可能です。

DMX ケーブル

LED MESSENGER は 3 チャンネル分の DMX 信号を使用するユニットです。DMX アドレスは本体の裏面または付属のリモコンで設定して下さい。DMX 機器との接続は 3 ピン XLR 仕様のデジタルケーブルを使用して直列に行います。



DMX ケーブルを作る際は、以下の図を参照して下さい。



5 ピン XLR 仕様の DMX コネクタ

照明機器メーカーによっては 3 ピン仕様の XLR コネクタの代わりに 5 ピン仕様の XLR コネクタを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン仕様の XLR コネクタを LED MESSENGER に接続する際は変換アダプターをお使い下さい。

プログラムとフレーズの選択（本体コントローラー）

本体コントローラーで内蔵プログラムとフレーズを選択することができます。

モード

1. 「Pr.XX」とディスプレイに表示されるまで MODE ボタンを押して下さい。「XX」はフレーズ、またはプログラム番号を表します。
2. UP/DOWN ボタンを押して、プログラムを選択してください。
3. 「Pr01」はプログラムされた 15 フレーズのうちのひとつ、「Pr02」～「Pr17」は内蔵エフェクトプログラムを表します。

—セットアップ—

フレーズの選択

注意：フレーズの文字数が4文字以下の場合、右から左、上から下、そして下から上へとスクロールします。4文字以上の場合、右から左のスクロールのみとなります。

1. 「Pr.XX」とディスプレイに表示されるまで MODE ボタンを押して下さい。「XX」はフレーズ、またはプログラム番号を表します。
2. フレーズをスクロールさせたい場合は「Pr.01」を選択します。そして SET UP ボタンを押すと「rd.XX」と表示されます。「XX」は現在のフレーズ番号を表します。
3. UP/DOWN ボタンを押して、フレーズを選択して下さい。希望するフレーズ番号に合わせて SETUP ボタンをもう一度押してください。

注意：メモリーにフレーズをプログラムしていない場合、内蔵されているフレーズのみ選択が可能です。

4. 「S.XXX」と表示されたら、フレーズスクロールのスピードを「S001」～「S100」の間で選択し、もう一度 SETUP ボタンを押してスクロールスピードを確定して下さい。
5. 「F.XXX」と表示されたら、フラッシュスピードを「F000」～「F100」の間で選択し、もう一度 SETUP ボタンを押してフラッシュスピードを確定して下さい。
6. ディスプレイに再び「Pr.01」と表示され、設定したスピードでフレーズを表示します。

プログラム

1. ディスプレイに「Pr.XX」と表示されるまで MODE ボタンを押して下さい。
2. 「Pr.02」～「Pr.17」の間で任意のプログラムを選択して、SET UP ボタンを押して下さい。
3. 「S.XXX」と表示されたら、プログラムの再生スピードを「S001」～「S100」の間で選択し、もう一度 SETUP ボタンを押して再生スピードを確定して下さい。
4. 「F.XXX」と表示されたら、フラッシュスピードを「F000」～「F100」の間で選択し、もう一度 SETUP ボタンを押してフラッシュスピードを確定して下さい。
5. 選択したプログラム番号がディスプレイに表示され、設定したスピードでプログラムが再生されま

プログラムとフレーズの選択 (リモートコントローラー)

付属のリモートコントローラーで内蔵プログラムとフレーズを選択することができます。

モード

1. 「Pr.XX」とディスプレイに表示されるまで PROG ボタンを押して下さい。「XX」はフレーズ、またはプログラム番号を表します。
2. UP/DOWN ボタンを押して、プログラムを選択してください。
3. 「Pr01」はプログラムされた 15 フレーズのうちのひとつ、「Pr02」～「Pr17」は内蔵エフェクトプログラムを表します。

—セットアップ—

フレーズの選択

注意: フレーズの文字数が 4 文字以下の場合、右から左、上から下、そして下から上へとスクロールします。4 文字以上の場合、右から左のスクロールのみとなります。

1. 「Pr.XX」とディスプレイに表示されるまで PROG ボタンを押して下さい。「XX」はフレーズ、またはプログラム番号を表します。
2. フレーズをスクロールさせたい場合は「Pr.01」を選択します。そして SET UP ボタンを押すと「rd.XX」と表示します。「XX」は現在のフレーズ番号を表示します。
3. UP/DOWN ボタンを押して、フレーズを選択して下さい。希望するフレーズに合わせて PROG ボタンをもう一度押して下さい。

注意: メモリーにフレーズをプログラムしていない場合、内蔵されているフレーズのみ選択が可能です。

4. 「S.XXX」と表示されたら、フレーズスクロールのスピードを「S001」～「S100」の間で選択し、もう一度 PROG ボタンを押してスクロールスピードを確定して下さい。
5. ディスプレイに再び「Pr.01」と表示され、設定したスピードでフレーズを表示します。
6. FLASH RATE ボタンを押してフラッシュ/ストロボを起動して下さい。UP/DOWN ボタンを押してフラッシュスピードを設定して下さい。フラッシュを停止するときは再び FLASH RATE ボタンを押して下さい。

プログラムの選択

1. ディスプレイに「Pr.XX」と表示されるまで MODE ボタンを押して下さい。
2. 「Pr.02」～「Pr.17」の間で任意のプログラムを選択して、SET UP ボタンを押して下さい。
3. 「S.XXX」と表示されたら、プログラムの再生スピードを「S001」～「S100」の間で選択し、もう一度 SETUP ボタンを押して再生スピードを確定して下さい。
4. 選択したプログラム番号がディスプレイに表示され、設定したスピードでプログラムが再生されません。
5. FLASH RATE ボタンを押して、フラッシュ/ストロボを起動して下さい。UP/DOWN ボタンを押して、フラッシュスピードを設定して下さい。フラッシュを停止するときは、再び FLASH RATE ボタンを押して下さい。

オートモード（本体コントローラー）

本体コントローラーでオートモードに設定する場合は、下記手順に従ってください。

1. ディスプレイに「AUTO」と表示されるまで MODE ボタンを押して下さい。
2. SET UP ボタンを押すと、「S.XXX」と表示されます。オートモードのスピードを「S001」～「S100」の間で選択し、もう一度 SET UP ボタンを押してスピードを確定して下さい。
3. 「N.XXX」と表示されたら、各プログラムサイクルの回数を「N001」～「N100」の間で選択し、もう一度 SET UP ボタンを押して確定して下さい。
4. 再びディスプレイに「Auto」と表示され、選択したスピードとフラッシュ回数で動作を始めます。

オートモード（リモートコントローラー）

リモートコントローラーでオートモードに設定する場合は、下記手順に従ってください。

1. AUTO RUN ボタンを押して、ディスプレイに「AUTO」と表示させて下さい。
2. AUTO RUN ボタンを押すと、ディスプレイに「S.XXX」と表示されます。オートモードのスピードを「S001」～「S100」の間で選択し、もう一度 AUTO RUN ボタンを押してスピードを確定して下さい。
3. 「N.XXX」と表示されたら、各プログラムサイクルの回数を「N001」～「N100」の間で選択し、もう一度 AUTO RUN ボタンを押して確定して下さい。
4. 再びディスプレイに「Auto」と表示され、選択したスピードとフラッシュ回数で動作を始めます。

サウンド アクティブ モード（本体コントローラー）

本体コントローラーでサウンドアクティブモードに設定する場合は、下記手順に従ってください。

1. 「SU.XX」とディスプレイに表示されるまで MODE ボタンを押して下さい。
2. UP/DOWN ボタンを押して、サウンドアクティブの感度を「SU.00」～「SU.31」の間で調節して下さい。

サウンド アクティブ モード（リモートコントローラー）

リモートコントローラーでサウンドアクティブモードに選択する場合は、下記手順に従ってください。

1. SOUND ACTIVE ボタンを押して、「SU.XX」とディスプレイに表示して下さい。
2. UP/DOWN ボタンを押して、サウンドアクティブの感度を「SU.00」～「SU.31」の間で調節して下さい。

マスター/スレーブモード

接続した複数の灯体をマスター/スレーブモードで同期させることが可能です

[接続及び設定方法]

1. マスターとなる灯体を 1 台選びます。
2. 本体の背面にデジタル XLR ケーブルを接続し、灯体を直列に連結して下さい。「SLAV」と表示されるまでスレーブユニットの MODE ボタンを押すか、リモートコントローラーの SLAVE ボタンを押して下さい。

フレーズの編集（リモートコントローラー）

リモートコントローラー、または PS/2 対応のキーボードを使用してフレーズを編集して下さい。

フレーズ「rd.01」～「rd.10」はプログラムが内蔵されています。LED MESSENGER には 15 フレーズまで保存することができます。各フレーズは、30 文字まで入力可能です。

1. SELECT PROG ボタンを押して、「Pr.01」とディスプレイに表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して下さい。
2. もう一度 SELECT PROG ボタンを押して、「rd.XX」と表示させて下さい。UP/DOWN ボタンを押して編集するフレーズを選択し、EDIT ボタンを押して下さい。リモートコントローラーを使って文字を入力して下さい。

注意: EDIT ボタンを押すと選択したフレーズは削除されます。工場出荷時に戻す場合には、EDIT ボタンを 3 秒以上押して 1,6,8,1,6,8 と順に押して下さい。この機能を使用すれば、「rd.11」～「rd.15」までのフレーズは消えることはありません。

3. 文字入力が完了したら、ENTER ボタンを押して保存して下さい。

フレーズの編集（PS/2 対応のキーボード）

PS/2 対応のキーボードを使用すれば、リモートコントローラーより簡単に文字を入力することができます。キーボード入力する前にコントロールボードで「rd.01」～「rd.15」を選択して下さい。

1. 「Pr.01」が表示されるまで、MODE ボタンを押して下さい。そして、もう一度 MODE ボタンを押して「rd.xx」と表示して下さい。
2. UP/DOWN ボタンを押して編集するフレーズを選択して下さい。
3. フレーズナンバーが決定したら、キーボードの Ctrl と E を同時に押して下さい。
4. 通常のキーボードと同じように入力して下さい。
5. 文字の入力が完了したら、キーボードの Enter を押して下さい。

DMX コントロール モード(本体コントローラー)

DMX コントロール モードでは、DMX コントローラーを使用してプログラムのスピード、ストロボ動作、サウンドアクティブとその感度をコントロールすることができます。

本体コントローラーで DMX アドレスを設定する場合は、下記手順に従ってください。

1. LED MESSENGER は、3DMX チャンネルです。チャンネル 1 はプログラムとサウンドアクティブ、チャンネル 2 はプログラム再生スピードとサウンドアクティブ感度、チャンネル 3 はストロボスピードです。
2. 「dXXX」とディスプレイに表示されるまで、MODE ボタンを押して下さい。
3. UP/DOWN ボタンを押して DMX アドレスを選択し、DMX コントローラーを LED MESSENGER に接続して下さい。
4. コントローラーのフェーダを使用して、コントロールして下さい。
5. ケーブルが 30 メートル以上の場合、最後の灯体にターミネータを使用して下さい。

DMX コントロール モード(リモートコントローラー)

リモートコントローラーで DMX アドレスを設定する場合は、下記手順に従ってください。

1. DMX MODE ボタンを押して、SET ADDR ボタンを押して下さい。ディスプレイには「d_ _ _」と表示されます。
2. number ボタンを使用して、DMX アドレスを設定して下さい。

注意:リモートコントローラーで DMX アドレスを設定する際は、本体のディスプレイがはっきりと見える適当な距離で操作を行って下さい。

DMX プロトコル

チャンネル	DMX 値	動作
1	0-12	<u>プログラム/サウンドアクティブ</u> OFF
	13-25	フレーズスクロール
	26-38	Program 2
	39-51	Program 3
	52-64	Program 4
	65-77	Program 5
	78-90	Program 6
	91-103	Program 7
	104-116	Program 8
	117-129	Program 9
	130-142	Program 10
	143-155	Program 11
	156-168	Program 12
	169-181	Program 13
	182-194	Program 14
	195-207	Program 15
	208-220	Program 16
221-233	Program 17	
	234-255	<u>サウンドアクティブモード</u>
2	0-12	<u>スピード&サウンド感度</u> 機能無し
	13-255	スピード 遅→速 サウンド感度 弱→強
3	0-12	<u>ストロボ</u> ストロボ無し
	13-255	遅→速

※ DMX モードでフレーズを再生する際は、本体側でフレーズを事前に選択し、設定しておく必要があります(4-5 ページ参照)。本体側で任意のフレーズを2回以上スクロール表示させ、UP ボタンを押すことにより設定が完了します。別のフレーズに変更する場合は、都度設定が必要です。

メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行って下さい。＜ ＞内は対応期間の目安となります。

※1 メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行って下さい。

※2 ガラスクリーナーやアルコール等でのクリーニング後は、完全に乾かしてからご使用下さい。

外側のレンズ <一週間に一度>

■レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き 取った後、から拭きを行って下さい。

通気孔 <一週間に一度>

■通気孔の目詰まりなどで内部冷却が行えない場合、内部温度が上昇し故障の原因となります。通気孔に埃や汚れが付着しますと正常な内部冷却が行えません

→通気孔についたチリやホコリを掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去して下さい。

信号ケーブル、電源ケーブル、アダプター差込口 <一ヶ月に一度>

■差込口部分に埃や汚れがつきますと、ショートし、灯体が正常に作動しない恐れがあります。

→エアードスターやブラシで埃を除去してください。差込口にぐらつき等がないかご確認 下さい。

ネジ <三ヶ月に一度>

■各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。

→各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認下さい。

故障かな？と思ったら

DMX に反応しない

- ・ DMX ケーブルが正しく接続されているか、正しく結線されているか確認して下さい。(通常 3 番が HOT となりますが、ケーブルによっては 2 番が HOT となります)
- ・ ケーブルが正しいコネクタにつながれているかご確認ください。
- ・ DMX アドレスが正しく設定されているかご確認ください。

サウンドアクティブで動作しない

- ・ LED MESSENGER は小さい音や、高音には反応しません。

電源が入らない

- ・ 電源ケーブルがしっかりとささっているかご確認ください。
- ・ ヒューズが切れていないかご確認ください。
- ・ ヒューズが切れている場合、下記手順に沿ってヒューズを新しいものに交換してください。

ヒューズ交換方法

1. 電源ケーブルを抜いてください。
2. 電源コードの隣にあるヒューズホルダーをドライバーで回して取り外します。
3. ヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーを本体に取り付けます。

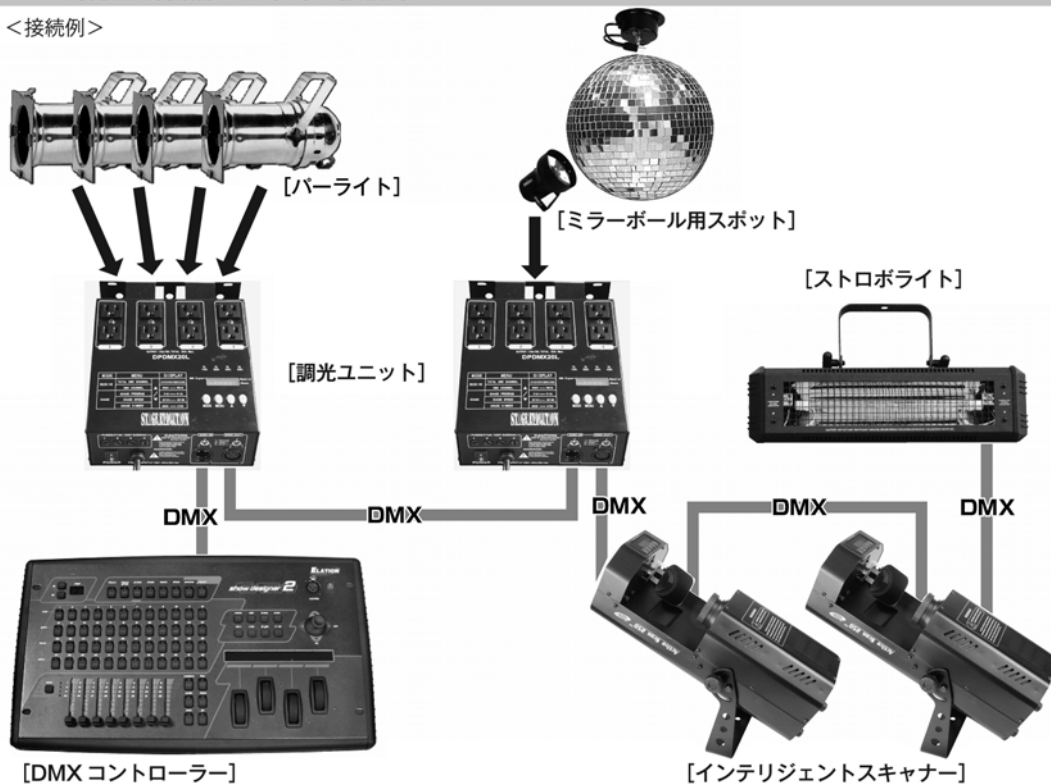
製品仕様

モデル	LED MESSENGER
使用電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	55W
ヒューズ	1A
重量	6.8kg
寸法	23(W)×23(H)×32(D) cm
LED 色	赤、緑、青、白

※製品の仕様は改良の為、予告無く変更する場合がございます。

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>



- DMX対応の照明機器は、上の図の様に配線を行います。配線用ケーブルにはDMXケーブルを使用して下さい。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。DMX対応のスモークマシーンも同様に接続可能です。
- DMX対応の照明機器を接続する順番は決まっていますが、なるべく距離が長くない様に配線を行って下さい(※)。
- 調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト(PAR64やPAR38等)の明るさを調節します。
- インテリジェントスキャナーや、ストロボ等の電源は通常のコンセントからとって下さい。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取って下さい。

※—長距離の配線について—

50mを超えるような配線になる場合、DMX信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用して下さい。ターミネーターとは最後に接続されたDMX対応照明機器の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照して下さい。

ターミネーターの作成方法

	<p>ターミネーターは、HOSA DMT-414をお薦め致します。</p>
	<p>自作される場合はオスのXLRコネクターを使用し、120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。</p>

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

ご購入日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適當（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内の修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はその便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。

American DJ®